

第104期 事業報告書

[平成15年4月1日～平成16年3月31日]

アイカ工業株式会社



平成16年6月

取締役社長 富田章嗣

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当社第104期(自平成15年4月1日至平成16年3月31日)の営業の概況をご報告申し上げます。

当期におけるわが国経済は、当初イラク戦争や新型肺炎(SARS=重症急性呼吸器症候群)等の影響で足踏みをしましたが、株価の回復、輸出の増加、企業収益の改善に伴う設備投資の増加および消費マインドの改善で個人消費も緩やかながら上向き傾向が出てくるなど総じて回復基調となりました。

住宅市場は、所得の伸び悩みで依然低迷が続いているものの、住宅ローン減税の見直しに伴う駆け込み需要や、住宅投資マインドの改善で底打ち感が出てまいりました。

このような状況にあつて当社は、環境と健康に配慮した新商品や当社の技術を生かした独創性のある新商品の開発を積極的に進めるとともに、カンパニー制導入により関係会社も含めて開発・生産・販売の一貫した事業活動を強化し、「顧客満足度向上」と「スピード経営」の実践に努めてまいりました。また、最適生産体制構築の一環として、中国の瀋陽市で集材材用接着剤の生産を開始し、昆山市では化成品生産工場の建設を進

めてまいりました。品質(ISO9001)・環境(ISO14001)・労働安全衛生(OHSAS18001)マネジメントシステムについては、全ての事業所で認証取得し三位一体の活動を展開してまいりました。

このような結果、連結の売上高は88,721百万円(前期比11.3%増)、経常利益は9,669百万円(前期比17.1%増)、当期純利益は5,252百万円(前期比37.1%増)となりました。また、単独の売上高は80,995百万円(前期比10.0%増)、経常利益は8,462百万円(前期比17.5%増)、当期純利益は、4,807百万円(前期比33.2%増)となりました。

今後の見通しにつきましては、中国を中心にしたアジア向けの輸出に支えられ、持続的回復が期待されるものの、テロなど国際情勢不安、為替相場の動向、原料価格の上昇などリスク要因も多く、先行き不透明な状況が続くものと思われま

す。このようななか、当社は一步先を行く環境経営と社会から評価される遵法経営、透明性の高い企業経営を推進してまいります。また、収益体質の強化と高生産性の確立、市場ニーズの高い商品や環境と健康にやさしい商品の開発を強化し、業績向上に鋭意努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、なにとぞ一層のご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

化成品部門

接着剤系商品は、シックハウス対策として昨年7月施行の改正建築基準法で使用面積の制限を受けない最上級のFフォースターにランクされる環境配慮型商品の品揃えを充実したことにより、幅広い顧客から高い評価を得ることができました。樹脂系商品は、環境と健康をキーワードに、目地のない大壁工法で多彩な仕上パターンを演出する外装仕上塗材やホルムアルデヒドを吸着分解する内装仕上塗材、Fフォースター対応に防火性能と断熱機能を付与した住宅ベランダ向け防水塗材が市場で好評を博しました。その結果、当部門の売上高は連結では、26,116百万円(前期比17.7%増)、単独では18,576百万円(前期比14.2%増)となりました。



外装・内装仕上塗材
ジョリバト
外壁面への使用例



環境配慮型接着剤
Fフォースター (F☆☆☆☆) 対応
アイエコエコボンド

建装材部門

商業・医療福祉・教育文化施設をはじめ多くの建装市場で高い評価を得ている化粧板商品は、特に業態間競争が激しい商業施設に、店舗の個性を発揮する意匠と機能を高めた新商品を積極的に投入した結果、市場ニーズにマッチし好評でした。また、化粧合板は、環境配慮型商品にいち早く対応したことが奏効し、建築基準法の改正に伴う市場変化のなか医療福祉・教育文化施設など多くの建装市場で採用されました。さらに新たな事業領域の壁面分野に、豊富な意匠と高機能に独自の施工技術を組み合わせた壁面化粧材を投入した結果、新規顧客を開拓することができました。その結果、当部門の売上高は連結では26,581百万円(前期比9.4%増)、単独では27,792百万円(前期比10.9%増)となりました。



アイカメラミン化粧板
美容院への使用例



アイカミナック 店舗への使用例

住器建材部門

不燃化粧材は、木材・建材ルートに注力すると同時に、病院・老人保健施設・学校・ビル等の新築・改築の大規模物件から、トイレ改修等の小規模物件まで幅広く営業活動を推進し売上拡大を図りました。インテリア建材は、「傷が付きにくい」機能を持った商品がペット共生住宅や賃貸住宅に「資産保全」という観点から多数採用されました。また、アルミ引き戸や金属階段等、最近のデザイントレンドである「シンプル&モダン」に合致した新商品を多数発売し好評でした。カウンターについては、ケミカル技術を活用し、短納期対応システムを実現いたしました。その結果、当部門の売上高は連結では29,895百万円(前期比7.2%増)、単独では29,848百万円(前期比6.6%増)となりました。



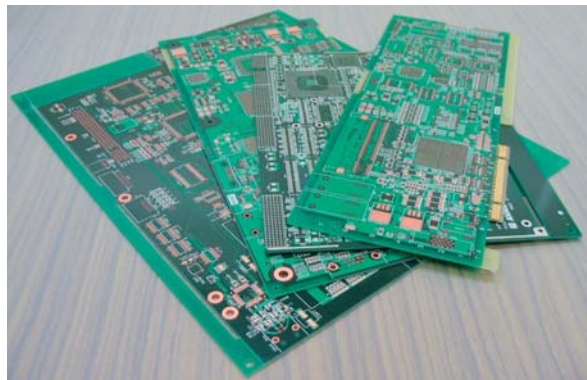
アイカインテリア建材
カウンター・フロア・
壁面パネル使用例



室内用ドア
アイカインテリア建材 金属階段使用例
シンプル&モダン

電子部門

電子商品はコア商品であるプリント配線板に特化し、高速伝送・電磁波障害対応の分野での技術レベルアップを図るとともに、これらの技術を活用した提案やサービスで開拓した顧客から、パターン設計や製品特性の面で高い評価を得ることができました。期後半からは、電子市場の回復が追い風となり、少量試作品から量産品まで幅広い受注を獲得することができました。その結果、当部門の売上高は連結では、4,527百万円(前期比11.1%増)、単独では4,778百万円(前期比10.9%増)となりました。



アイカプリント配線板

連結では、上記以外に1,600百万円(前期比29.1%増)の売上げがございました。

アイカビル(大阪市)が完成

「人と環境にやさしく、通信の大容量化・高速化に対応した8階建てのインテリジェントビル」

平成16年3月30日、大阪の南船場にアイカビル(大阪市中央区南船場1丁目13番27号)が完成いたしました。当ビルは、シックハウス症候群に配慮したアイカ商品を多数使用し、室内空間のホルムアルデヒド針値0.01ppm(測定限界値)以下を実現しました。1階はアイカ商品のラインナップとコーディネートの提案の場でもあるショールーム「スペース(ファイ)」、2階から4階はアイカグループフロア、5階から8階はテナントフロア。当ビルの完成により、近畿エリアの営業力強化、受注活動の効率化を図るとともに、顧客満足度の向上とスピード経営をより一層推進してまいります。



アイカ新商品発表会

「2004 NEW TREND & INTERIOR DEVICEを全国にて開催」

当社は、2004年新商品発表会を平成16年4月15日の青森を皮切りに平成16年7月23日の静岡まで全国17ヶ所において開催します。

業界一豊富な色柄と、多彩な素材で高い評価をいただいている当社の商品群をDESIGN(意匠)、SAFETY(安全)、ENVIRONMENT(環境)、FEEL EASY(安心)の4つのテーマを基に多数発表しています。

直接新商品を見ていただけるよい機会としてたいへん好評を得ております。



全部門で品質・環境・労働安全衛生 マネジメントシステムの認証を取得

「三位一体の運用で環境経営のさらなる向上を推進」

環境経営を企業の競争力の原点においている当社は、環境マネジメントシステムを全部門で適切に運用することを基本とし、環境配慮型商品の開発・販売、事業活動における調達物品のグリーン購入の推進および継続的な環境保全活動を積極的に展開してまいりました。環境マネジメントシステムの目標は品質や労働安全衛生のマネジメントシステムの目標と密接に連動しており、これらを全部門

が一体となって推進することにより、大きな効果を生むことができます。当社は、品質(ISO9001)、環境(ISO14001)、労働安全衛生(OHSAS18001)の3つのマネジメントシステムを営業部門を含めた全部門で認証取得しました。この3つのマネジメントシステムを三位一体で有機的に運用し、環境経営のさらなる向上を図ります。



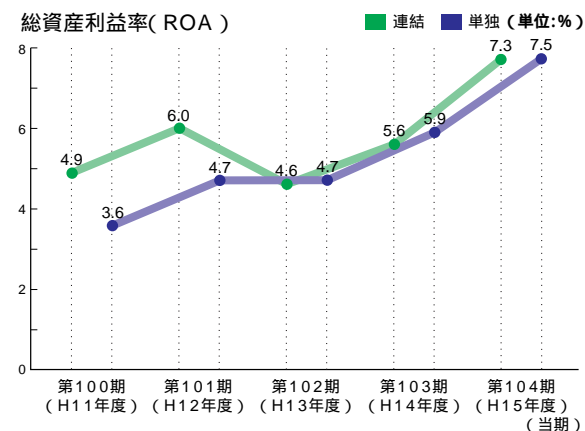
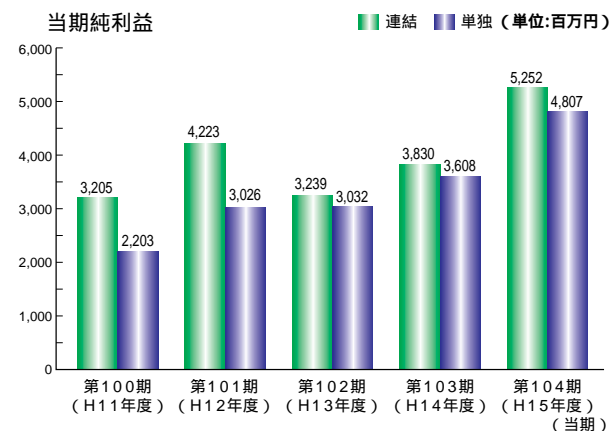
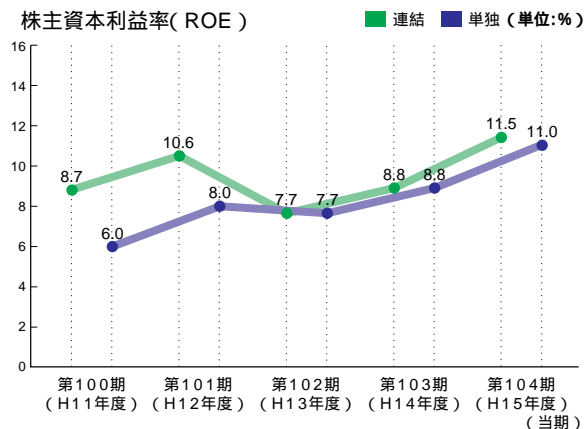
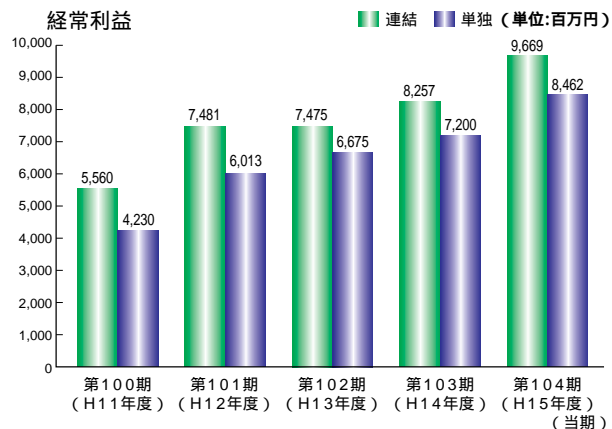
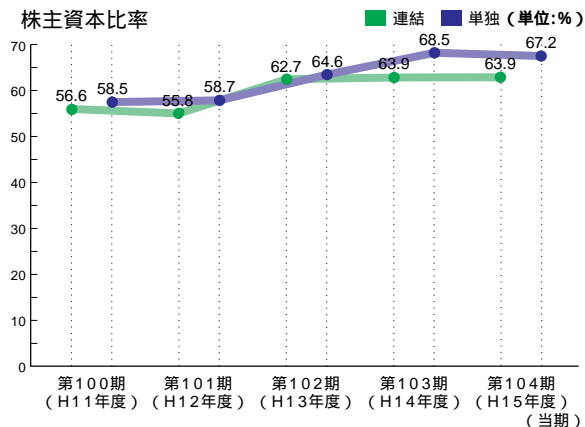
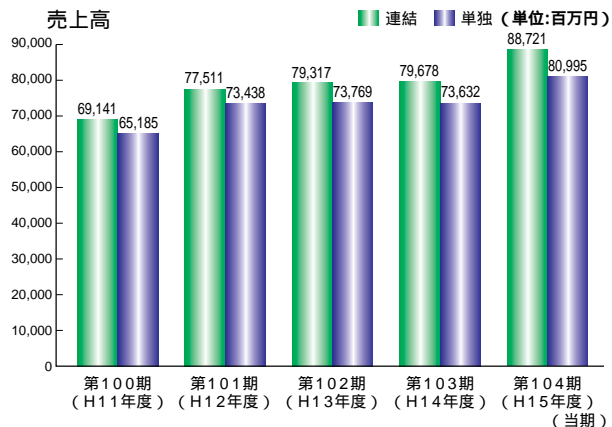
中国での事業展開

従来から中国で展開を図ってきた化成産品事業をさらに発展させるため、平成15年9月に三井物産および現地法人との合弁で中国瀋陽市に集成材用接着剤の生産工場(瀋陽愛克浩博化工有限公司)を設立いたしました。また、拡大する中国国内の建設需要に対処するため、上海市近郊の昆山市に三井物産との合弁で化成産品生産工場(昆山愛克樹脂有限公司)を建設中

で、今年8月に稼働予定です。中国に生産拠点を設けることで、より一層グローバルな事業展開を推進することができます。



財務ハイライト



連結決算

連結貸借対照表

科 目	(単位:千円)	
	当 期 (平成16年3月31日現在)	前 期 (平成15年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	50,437,550	47,221,912
現金および預金	11,583,131	11,022,349
受取手形および売掛金	32,811,081	30,665,284
有価証券	214,194	20,100
たな卸資産	4,194,163	4,125,185
繰延税金資産	822,255	701,448
その他	901,920	830,001
貸倒引当金	89,195	142,457
固定資産	24,029,571	21,463,912
有形固定資産	16,478,019	15,481,077
建物および構築物	7,066,725	6,093,460
機械装置および運搬具	3,722,211	3,760,671
工具、器具および備品	820,251	714,481
土地	4,640,215	4,668,699
建設仮勘定	228,614	243,763
無形固定資産	844,930	1,051,767
連結調整勘定	368,214	617,119
その他	476,715	434,647
投資その他の資産	6,706,621	4,931,067
投資有価証券	5,470,842	3,379,119
長期貸付金	65,349	39,753
前払年金費用	166,218	-
繰延税金資産	76,441	881,107
その他	1,011,909	700,196
貸倒引当金	84,139	69,109
資産合計	74,467,121	68,685,824

(単位:千円)

科 目	(単位:千円)	
	当 期 (平成16年3月31日現在)	前 期 (平成15年3月31日現在)
負債の部		
流動負債	25,447,773	23,095,849
支払手形および買掛金	15,579,235	13,699,140
短期借入金	4,015,049	4,453,529
一年以内返済の長期借入金	24,000	44,000
未払法人税等	2,141,306	2,104,034
未払消費税	229,072	195,100
賞与引当金	1,156,030	1,000,136
その他	2,303,079	1,599,907
固定負債	1,046,229	896,778
長期借入金	30,000	54,000
繰延税金負債	176,983	55,293
退職給付引当金	448,658	478,934
役員退職引当金	225,739	196,005
その他	164,847	112,545
負債合計	26,494,002	23,992,628
少数株主持分		
少数株主持分	389,037	783,745
資本の部		
資本金	9,891,708	9,891,708
資本剰余金	13,299,652	13,277,609
利益剰余金	27,345,627	23,211,181
其他有価証券評価差額金	1,196,868	38,431
為替換算調整勘定	57,534	27,764
自己株式	4,092,240	2,537,244
資本合計	47,584,081	43,909,450
負債、少数株主持分および資本合計	74,467,121	68,685,824

連結損益計算書

(単位:千円)

科 目	当 期 (平成15年4月1日- 平成16年3月31日)	前 期 (平成14年4月1日- 平成15年3月31日)
経常損益の部		
営業損益の部		
売上高	88,721,121	79,678,232
売上原価	64,014,415	57,691,924
売上総利益	24,706,706	21,986,308
販売費および一般管理費	15,099,013	13,799,763
営業利益	9,607,692	8,186,545
営業外損益の部		
営業外収益	229,179	226,694
営業外費用	166,993	155,396
経常利益	9,669,878	8,257,842
特別損益の部		
特別利益	72,734	104,742
特別損失	440,887	1,129,965
税金等調整前当期純利益	9,301,725	7,232,619
法人税、住民税および事業税	3,916,279	3,492,565
法人税等調整額	22,086	199,106
少数株主利益	111,246	109,012
当期純利益	5,252,113	3,830,148

連結剰余金計算書

(単位:千円)

科 目	当 期 (平成15年4月1日- 平成16年3月31日)	前 期 (平成14年4月1日- 平成15年3月31日)
< 資本剰余金の部 >		
資本剰余金期首残高		
資本準備金期首残高	13,277,609	13,277,609
資本剰余金増加高		
自己株式処分差益	22,043	-
資本剰余金期末残高	13,299,652	13,277,609
< 利益剰余金の部 >		
利益剰余金期首残高		
連結剰余金期首残高	23,211,181	20,354,807
利益剰余金増加高		
当期純利益	5,252,113	3,830,148
利益剰余金減少高		
配当金	1,058,456	888,675
役員賞与	59,212	54,501
連結子会社売却による減少高	-	30,597
利益剰余金期末残高	27,345,627	23,211,181

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

科 目	当 期 (平成15年4月1日- 平成16年3月31日)	前 期 (平成14年4月1日- 平成15年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,141,302	4,056,233
投資活動によるキャッシュ・フロー	3,092,740	2,748,530
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,417,875	2,434,967
現金および現金同等物に係る換算差額	44,904	43,214
現金および現金同等物の増減額	585,782	1,170,478
現金および現金同等物の期首残高	10,997,349	12,167,827
現金および現金同等物の期末残高	11,583,131	10,997,349

単独決算

貸借対照表

科 目	第104期	第103期
	(平成16年3月31日現在)	(平成15年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	44,767,575	41,856,212
現金預金	9,657,345	9,385,790
受取手形	11,775,713	12,007,104
売掛金	18,857,710	16,278,538
有価証券	206,146	20,100
たな卸資産	2,724,920	2,637,564
繰延税金資産	689,082	585,227
その他	939,422	1,070,986
貸倒引当金	82,765	129,099
固定資産	22,698,294	19,498,884
有形固定資産	12,571,529	11,460,519
建物	5,264,329	4,362,672
構築物	781,701	655,388
機械および装置	2,348,224	2,388,189
車輛運搬具	34,629	37,143
工具、器具および備品	680,275	527,332
土地	3,241,957	3,246,913
建設仮勘定	220,411	242,880
無形固定資産	429,153	386,094
ソフトウェア	344,474	340,372
ソフトウェア仮勘定	42,720	-
諸加入権	41,959	45,721
投資その他の資産	9,697,610	7,652,270
投資有価証券	5,748,976	3,666,952
子会社株式	2,846,377	2,494,304
子会社出資金	338,611	-
出資金	52,509	2,027
長期貸付金	95,211	175,747
長期前払費用	100,194	97,836
繰延税金資産	-	793,062
前払年金費用	166,218	-
その他の投資その他の資産	432,414	462,031
貸倒引当金	82,903	39,691
資産合計	67,465,870	61,355,097

(単位:千円)

科 目	第104期	第103期
	(平成16年3月31日現在)	(平成15年3月31日現在)
負債の部		
流動負債	21,685,651	19,014,829
支払手形	4,014,654	3,355,026
買掛金	10,445,159	9,146,831
短期借入金	2,500,000	2,750,000
未払金	860,268	142,805
未払費用	868,008	765,225
未払法人税等	1,814,001	1,837,209
未払消費税	168,573	140,527
賞与引当金	980,000	843,000
その他の流動負債	34,985	34,204
固定負債	419,657	303,470
預り保証金	126,584	102,015
退職給付引当金	-	37,808
役員退職引当金	190,927	163,646
繰延税金負債	102,145	-
負債合計	22,105,308	19,318,300
資本の部		
資本金	9,891,708	9,891,708
資本剰余金	13,307,783	13,277,609
資本準備金	13,277,609	13,277,609
その他資本剰余金	30,173	-
自己株式処分差益	30,173	-
利益剰余金	25,064,749	21,365,212
利益準備金	1,622,876	1,622,876
任意積立金	12,660,275	11,656,574
配当準備積立金	99,000	99,000
退職積立金	220,000	220,000
別途積立金	12,157,562	11,157,562
圧縮積立金	183,713	180,011
当期未処分利益	10,781,597	8,085,761
株式等評価差額金	1,188,560	39,510
自己株式	4,092,240	2,537,244
資本合計	45,360,561	42,036,797
負債および資本合計	67,465,870	61,355,097

損益計算書

(単位:千円)

科 目	第104期 (平成15年4月1日~ 平成16年3月31日)	第103期 (平成14年4月1日~ 平成15年3月31日)
経常損益の部		
営業損益の部		
売上高	80,995,283	73,632,243
売上原価	59,658,199	54,754,186
販売費および一般管理費	13,117,197	11,855,195
営業利益	8,219,886	7,022,860
営業外損益の部		
営業外収益	357,464	295,467
営業外費用	114,570	117,951
経常利益	8,462,780	7,200,376
特別損益の部		
特別利益	51,897	135,559
特別損失	375,546	926,209
税引前当期純利益	8,139,131	6,409,726
法人税・住民税および事業税	3,320,000	2,990,000
法人税等調整額	11,138	189,156
当期純利益	4,807,993	3,608,882
前期繰越利益	6,500,492	4,920,479
中間配当額	526,888	443,600
当期末処分利益	10,781,597	8,085,761

記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

利益処分

(単位:円)

摘 要	第104期	第103期
当期末処分利益	10,781,597,404	8,085,761,697
これを次のとおり処分いたします。		
利益配当金	714,488,489 (1株につき11円)	531,567,496 (1株につき8円 〔内訳〕普通配当7円50銭 特別配当 50銭)
役員賞与金	65,000,000	50,000,000
(取締役に対する役員賞与金)	(56,000,000)	(43,000,000)
(監査役に対する役員賞与金)	(9,000,000)	(7,000,000)
別途積立金	1,500,000,000	1,000,000,000
圧縮積立金	12,776,152	3,701,411
次期繰越利益	8,489,332,763	6,500,492,790

(注)平成14年12月10日に第103期中間配当443,600,729円(1株につき普通配当6円50銭)および平成15年12月10日に第104期中間配当526,888,536円(1株につき普通配当8円)を実施しました。

プロフィール

社名 アイカ工業株式会社
 本社 愛知県西春日井郡新川町大字西堀江2288番地
 電話 052(409)8000〔案内〕
 設立 昭和11年10月20日
 資本金 98億9,170万8,792円
 事業所

[生産工場] 新川工場(愛知県)

甚目寺工場(愛知県)

福島工場(福島県)

広島工場(広島県)

[開発拠点] R&Dセンター(愛知県)

R&Dセンター福島(福島県)

[営業拠点] 札幌(北海道) 静岡(静岡県)

仙台(宮城県) 金沢(石川県)

盛岡(岩手県) 大阪(大阪府)

福島(福島県) 京滋(京都府)

北関東(群馬県) 神戸(兵庫県)

新潟(新潟県) 広島(広島県)

松本(長野県) 岡山(岡山県)

東京(東京都) 高松(香川県)

埼玉(埼玉県) 福岡(福岡県)

宇都宮(栃木県) 長崎(長崎県)

柏(千葉県) 鹿児島(鹿児島県)

千葉(千葉県) 関東(東京都)

横浜(神奈川県) 中部(愛知県)

名古屋(愛知県) 関西(大阪府)

主要な製品

[化成品部門]

外装・内装仕上塗材、塗床・壁材、各種接着剤など

[建装材部門]

メラミン化粧板、化粧合板など

[住器建材部門]

玄関・室内用ドア、インテリア建材、カウンター、不燃化粧材、収納扉など

[電子部門]

プリント配線板、電子システム商品など

連結子会社

[会社名] [所在地] [主要な事業内容]

アイカインテリア工業株式会社 愛知県 住器建材製造

アイカハリマ工業株式会社 兵庫県 建装材・住器建材製造

ガンツ化成株式会社 大阪府 化成品製造・販売

大日本色材工業株式会社 東京都 化成品製造・販売

アイカ電子株式会社 岐阜県 プリント配線板製造

アイカインドネシア社 インドネシア 化成品・建装材・住器建材製造

テクノウッド社 インドネシア 建装材製造

(注)アイカインドネシア社につきましては、商法に規定する子会社ではありませんが、支配力基準の適用により、実質的に支配をしていると判断し、連結の対象としております。

取締役・監査役および執行役員

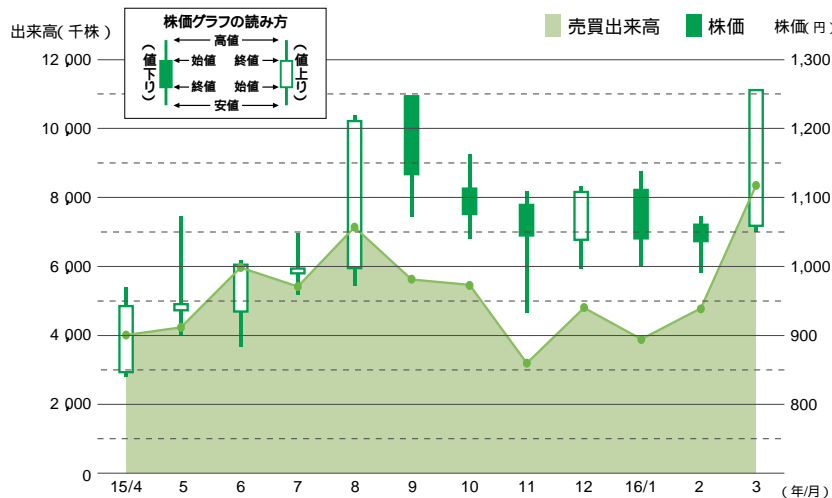
[代表取締役社長]	富田 章嗣
[専務取締役]	渡辺 修
[常務取締役]	深田 卓朗
[常務取締役]	野田 近
[常務取締役]	佐治 一良
[取締役]	石塚 良宏
[取締役]	堀田 益之
[取締役]	森永 博之
[取締役]	岩田 照徳
[常勤監査役]	堀部 啓一
[常勤監査役]	酒井 眞孝
[監査役]	福井 清晃
[監査役]	浦部 康資
[執行役員]	岩瀬 幸広
[執行役員]	相馬 治夫
[執行役員]	田中 彰
[執行役員]	伊東 善光
[執行役員]	磯貝 透
[執行役員]	小野 勇治

(注) 印は、株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律第18条第1項に定める社外監査役であります。

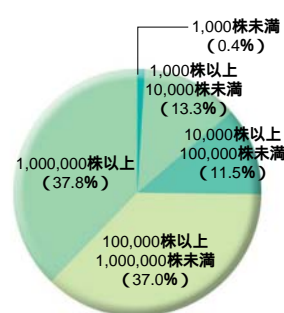
発行済株式の総数...69,890,664株

株主数...6,485名

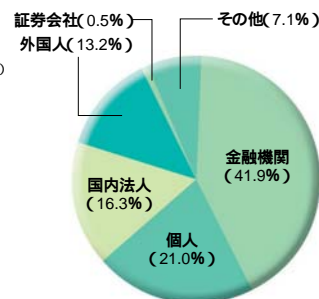
株価・売買出来高の推移(東京証券取引所)



[所有株数別分布状況]



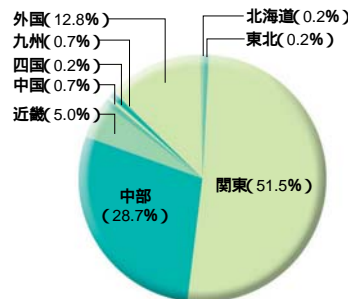
[所有者別分布状況]



大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	議決権比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	5,602	8.72
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	5,098	7.93
東京海上火災保険株式会社	1,867	2.91
株式会社UFJ銀行	1,693	2.63
住友生命保険相互会社	1,318	2.05
アイカ工業取引先持株会	1,239	1.93
電気化学工業株式会社	1,229	1.91
アイカ工業株式保有会	1,208	1.88
デクシア ビーアイエル ジュリアス ベア マルチストック ジャパン リーディング(常任代理人 株式会社東京三菱銀行 カストディ業務部)	1,144	1.78
株式会社名古屋銀行	1,084	1.69

[地域別株主分布状況]



当社は自己株式4,937千株を保有しておりますが、上記の大株主からは除いております。

株主メモ

決算期	3月31日
定時株主総会	6月
株主確定基準日	1)定時株主総会、利益配当金 3月31日 2)中間配当金 9月30日 3)その他必要があるときは、あらかじめ 公告した一定の日
公告掲載新聞	日本経済新聞
名義書換代理人	UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱所	〒137 8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 03-5683-5111(代表)
同取次所	UFJ信託銀行株式会社 全国各支店

上場証券取引所 東京・名古屋

貸借対照表および
損益計算書掲載の
ホームページ
アドレス <http://www.aica.co.jp/kessan/index.html>

(お知らせ)

【株式関係の手続きに必要な各用紙のご請求先】

次のUFJ信託銀行株式会社の電話およびインターネットで24時間承っております。

電話(フリーダイヤル)0120-24-4479(本店証券代行部)
0120-68-4479(大阪支店証券代行部)

ホームページアドレス <http://www.ufjtrustbank.co.jp/>